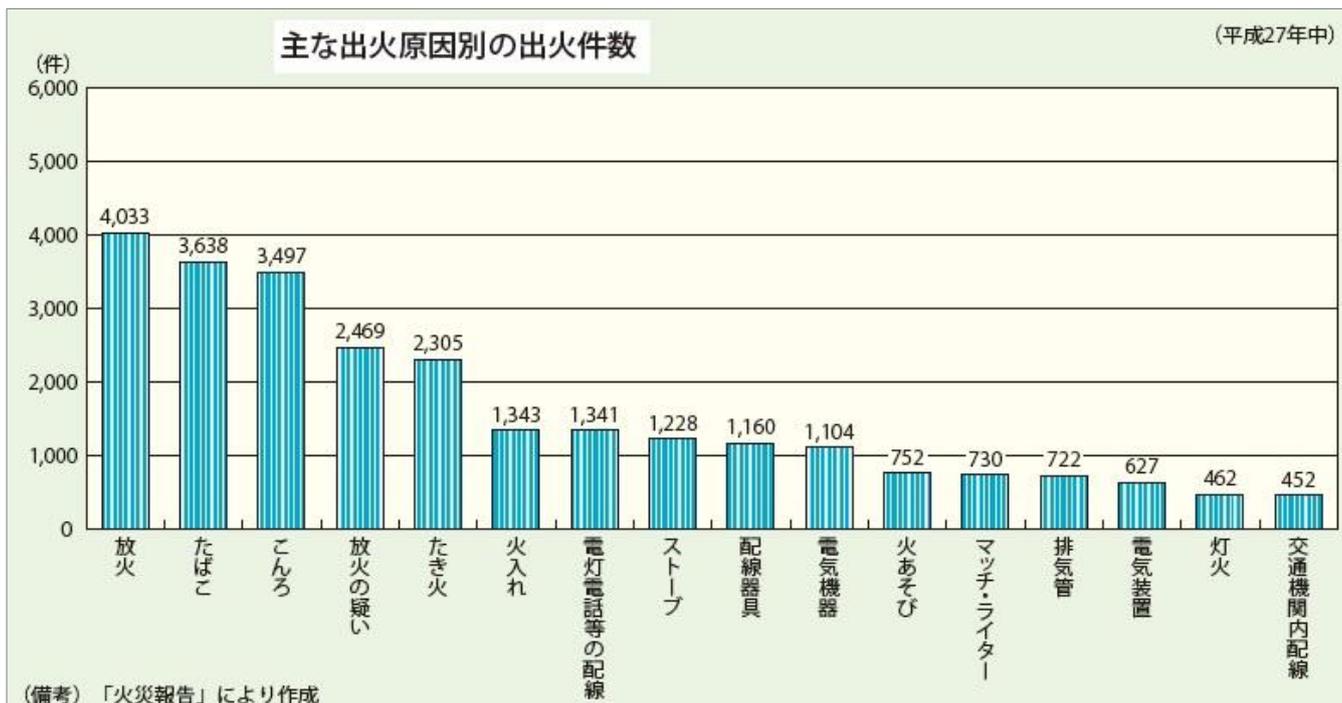
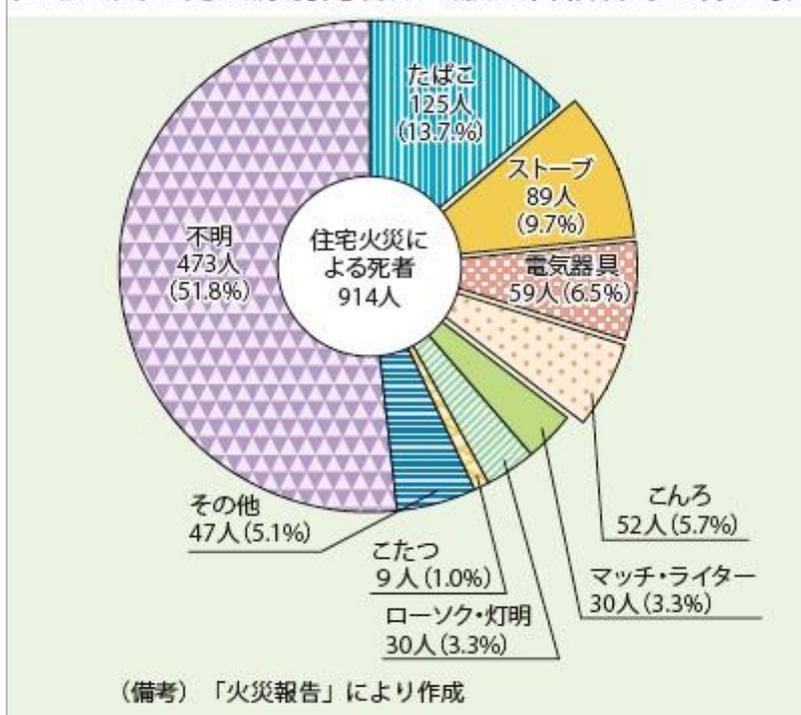


タバコの正体

昨年末、新潟県糸魚川市で発生した火事は、120棟もの家屋が全焼するほどの大規模火災となりました。このニュースは記憶に新しいところですが、いったい全国で火事はどのくらい発生しているのでしょうか。総務省消防庁が発表した平成28年度消防白書によると、平成27年度に発生した火災は39,111件だったそうです。1日当たり107件の火災があったこととなります。そして下図は出火原因別に示したものですが、一番多いのが残念なことに「放火」で、じつは2番目が「タバコ」なのです。



住宅火災の発火源別死者数 (放火自殺者等を除く。)



タバコによる火事は3,638件もあり全体の約10%を占めるほど多く発生しています。さらに左のグラフをみてください。住宅火災のうちタバコが原因の火災で亡くなった人もかなり多いのです。

誰かが火をつけたタバコが住宅を燃やし、人命までも奪ってしまうケースがこんなにあるという事実は知っておかなければいけません。そして、タバコさえ吸っていなければ家も人命も失わず済んだ事を。

産業デザイン科 奥田 恭久